



FUTURE

デュルハイマー会長  
兼CEOが描く

# ラグジュアリーの 未来

## CONTENTS

1 FUTURE —  
ラグジュアリーの未来

2 COMPETITORS —  
ポルシェ パナメーラ



3 SALES —  
販売台数が過去最高を記録

4 MULLINER —  
フライングスパー向け  
Mulliner のビスポーク



5 LATEST NEWS —  
「ベントレー ガールズ」を  
ご存じですか？ 他

6 BASIC KNOWLEDGE —  
リコール / 改善対策 / サービス  
キャンペーンの違い

ベントレー モーターズのウォルフガング・デュルハイマー会長兼CEOは、米国・デトロイトで開催されたAutomotive News World Congressで、ラグジュアリーカーの未来について講演し、未来のラグジュアリーを定義づけるにあたって、ベントレーが中心的役割を担っていく考えを示しました。デュルハイマー会長の描くラグジュアリーの未来は、どのような世界なのでしょう。

デュルハイマー会長はまず、ラグジュアリーカーメーカーは近い将来、お客様の属性や嗜好が地震のように前兆なしにやってくる変化に直面するとの見解を披露。「今後10年で、ラグジュアリーカーメーカーは変化しなければなりません。経済発展や“C世代”の存在などの影響が大きくなり、お客様の人口統計が劇的に拡大し変化するさまを目にするはずだからです。特にC世代は、年齢よりも行動で定義される性格を持っています」と語りました。また、「これらの未来のお客様は、現在のラグジュアリーカーを購入する層とは異なる期待や要望をメーカーに對

して持つようになるでしょう」とも話しています。

さらにデュルハイマー会長は、「私たちの調査によると、たとえば彼らは思い立ったらすぐに、テクノロジーや情報、利便性というものに障壁なく接しているため、自動車を所有することに対して全く異なる態度をとることがわかりました。また、都市化が進む世界では、あらゆる交通手段にチャレンジするチャンスがあります。ベントレーは、この変化に適切に対応し、ラグジュアリーな交通手段の未来を定義する中心的な役割を担うべきであると考えています」と付け加えました。

その後、話題はベントレーがいかにして新しいお客様に英国のラグジュアリーブランドをマッチさせていくかに移行。「私たちは、テクノロジーを持っているだけでは十分でない、と信じています。テクノロジー単体ではあまりに冷たく、真のラグジュアリーとは言えません。人が関わるものだとすることを忘れてはならないのです」との持論を展開しました。ベントレーが世界各地で行った調査では、未来のラグジュアリーカーのお客様が、伝統や遺産、クラフトマンシップ（商品の背後にあるストーリー）などに高い価値を認めることがわかっています。また、美しく、高品質で本物のデザインを要求し、そこで使用される素材も“持続可能な社会”が体现されていることを重視することも明らかになりました。

最後にどのようにしてこのアプローチを実現するかを話題にし、将来ベントレーが車両に実装する可能性の高いアイデアの一部を明かしました。その1つが有機ELディスプレイ(OLED)です。これはウッドパネルに貼りつけることが可能で、ディスプレイとして使用する時以外は透明になる極薄シート。オーディオやHVACシステムのコントロールとして使用することができます。

ベントレーのデザイン・ディレクターであるステファン・シーラフ氏も、ベントレーが非動物性の素材をはじめとするエコな素材を模索・開発し続けている



未来のお客様の要望を見据え、ストーンベニアのような新素材を模索・開発している。

理由に、未来のお客様がラグジュアリーカーに期待する要素に「エコ」が含まれることが予想されているからだと話しています(2016年11月号を参照)。コンチネンタルGTとフライングスパー向けのビスポークにストーンベニアをリリースしたのは、まさにその表れと言えます。

ベントレーの未来のお客様の生活をより豊かで充実したものにするためには、「私はさらに多様化し、洗練されたコンシェルジュスタイルのサービスに大きな可能性を秘めた未来があると信じています。それから、お客様同士をつなぐ世界規模の“クラブ”の設立も探っていきたいと考えています」などと語りました。



OLEDとウッドパネルのように、最先端テクノロジーを伝統と融合させてこそ未来のラグジュアリー。



COMPETITORS INFORMATION [競合車情報]

個性豊かなモデルでラインアップを拡充 — ポルシェ パナメーラ —

日本では2016年7月28日に予約受注を開始した新型ポルシェ・パナメーラ。当初はパナメーラ 4Sとパナメーラ ターボの2種類のみの発表でしたが、その後矢継ぎ早に追加モデルを発表。現在は9種類のモデルが発売されています。そこで今回は、昨秋以降に発表されたパナメーラの追加モデルを紹介します。

プラグインハイブリッドの  
パナメーラ 4 E ハイブリッド

昨年10月11日に予約受注を開始したのが、プラグインハイブリッドモデルのパナメーラ 4 E ハイブリッドです。先代のパナメーラ S E-ハイブリッドの後継モデルで、効率とパフォーマンスがさらに向上。駆動方式は先代モデルの後輪駆動から電子制御式の4WDに変更され、トランスミッションも従来の8速ATから8速PDKに進化しています。

パワーユニットは、新開発の2.9L V6ツインターボエンジンに電気モーターを組み合わせたもの。電気モーターの最高出力は、先代を大きく上回る136ps (100kW)、最大トルクは400Nmを発揮。システム合計では最高出力462ps (340kW)、最大トルク700Nmとなり、先代の416ps (306kW)、590Nmを大きく上回りました。ちなみに0-100km/h加速は、スポーツクロノパッケージ装着時で4.6秒。最高速度は278km/hと発表されています。



ライムグリーンのエンブレムとブレーキキャリパーは、プラグインハイブリッドの専用装備

ゼロエミッションでの走行性能も向上しています。アクセルを踏み込むと電気モーターが即座に100kWの出力と400Nmのトルクを発生させ、そのまま電気モーターだけで最高速度140km/h、最大航続距離50kmまで走行することができます。先代モデルのゼロエミッション走行は、最高速度135km/h、最大航続距離36kmのため、エンジンを必要とする機会がさらに減少しました。目的地と走り方によっては、ゼロエミッションでの往復も可能といえるでしょう。燃料消費量は、新ヨーロッパ走行サイクル (NEDC) で2.5L/100kmとなり、効率性をさらに高めています。

■ パナメーラ 4 E ハイブリッド(車両本体価格:税込14,070,000円)

エントリーモデルのパナメーラとパナメーラ 4

昨年12月9日から予約受注を開始したのが、エントリーモデルとなる後輪駆動のパナメーラと、4WDのパナメーラ 4です。パナメーラは、ラインアップ中唯一の後輪駆動モデルで、4WDモデルのパナメーラ 4との価格差は50万円です。

両者に搭載される新型3.0L V6ターボエンジンは、最高出力を先代より20ps高い330psとしながら、燃料消費率では1.0L/100kmの低減を実現しています。

トランスミッションは、両者ともに他のパナメーラと同じ8速PDKで、どちらもエアサスペンションを標準装備しています。



ラインアップ中唯一の後輪駆動モデルとなるパナメーラ

■ パナメーラ (車両本体価格: 税込11,328,000円)  
■ パナメーラ 4 (車両本体価格: 税込11,828,000円)



FEATURE 1	FEATURE 2	FEATURE 3
プラグインハイブリッドの「4 E ハイブリッド」	2 輪駆動のエントリーモデル「パナメーラ」	ロングホイールベース仕様の「エグゼクティブ」

ホイールベースを 150mm 延長したエグゼクティブ

パナメーラ/パナメーラ 4と同時に予約受注開始となったのが、ショーファードリブンの用途に応えるロングホイールベース仕様のエグゼクティブです。先代モデルの後期型で登場したエグゼクティブモデルは、特に中国と北米でのニーズが高く、新型パナメーラでは最初のモデル発表からわずか半年あまりで追加となりました。



エグゼクティブモデルは伸びやかなサイドビューが印象的

先代と同様にホイールベースを150mm延長したエグゼクティブモデルは、パナメーラ 4、パナメーラ 4 E ハイブリッド、パナメーラ 4S、パナメーラ ターボの4車種に設定されています。装備も充実していて、大型パノラミックルーフ、フロント/リアのマルチウェイ電動調節式コンフォートシート (ヒーター付)、電子制御ダンパシステム (PASM) を含むアダプティブエアサスペンション、後席後方のロールアップサンブラインドが標準装備となります。さらにパナメーラ 4S エグゼクティブでは、リアアクスルステアとソフトクローズドアが備わります。そしてパナメーラ ターボエグゼクティブでは上記に加えて4ゾーンクライメートコントロール、ポルシェ・ダイナミック・ライトシステム (PDLS) を含むLEDヘッドライト、アンビエントライトも装備されます。



ホイールベースの延長により、フットスペースを拡大したリアコンパートメント

ショーファードリブんにふさわしく、後席まわりの装備も充実しています。エグゼクティブの全モデルには2組の折り畳み式テーブルと大型リアセンターコンソールがオプション設定され、オーナーのアクティブな活動を支援します。



また、前席のバックレストに統合された最新世代のポルシェ・リアシートエンターテインメントでは、着脱可能な10.1インチディスプレイを装備。車外ではタブレットとして使用することができます。



エグゼクティブモデルのラインアップ拡張をはじめ、さまざまなニーズに応えるモデルを用意した新型パナメーラ。今年3月のジュネーブ・モーターショーではシューティングブレークモデルの「パナメーラ スポーツ ツーリスモ」の発表が予定されており、今後も目が離せない展開が続くそうです。

■ パナメーラ 4 エグゼクティブ (車両本体価格: 税込13,030,000円)  
■ パナメーラ 4 E ハイブリッドエグゼクティブ (車両本体価格: 税込15,290,000円)  
■ パナメーラ 4S エグゼクティブ (車両本体価格: 税込17,620,000円)  
■ パナメーラ ターボエグゼクティブ (車両本体価格: 税込25,400,000円)



NEW MODEL INFORMATION [新型車情報]



メルセデス・ベンツ Eクラス ステーションワゴン

発表・発売日	2016年11月29日 発表・発売	
概要	・ 新型Eクラスをベースにしたステーションワゴン ・ 最大1,820Lの大容量ラゲッジスペース	
車両価格 (税込)	E 200 ステーションワゴン： 7,120,000円～ E 200 4MATIC ステーションワゴン： 7,350,000円 E 220 d ステーションワゴン： 7,350,000円～ E 250 ステーションワゴン： 8,030,000円～ E 400 4MATIC ステーションワゴン： 10,500,000円 メルセデス AMG E 43 4MATIC ステーションワゴン： 11,860,000円	
デリバリー 開始時期	—	



メルセデス・マイバッハ S 650 カブリオレ

発表・発売日	2017年1月16日 注文受付開始	
概要	・ 世界限定300台のうち、日本には4台を導入 ・ メルセデス・マイバッハ初の2ドアモデル ・ メルセデスAMG S 65 カブリオレがベース ・ 3,000通り以上の内外装組み合わせからオーダー可能	
車両価格 (税込)	メルセデス・マイバッハ S 650 カブリオレ：44,200,000円	
デリバリー 開始時期	2017年第4四半期以降	



メルセデス・ベンツ Gクラス

発表・発売日	2016年11月11日 発表・発売	
概要	・ COMAND システムを最新世代に変更 ・ G 350 d以外のモデルにブラックホイールを装備 ・ メルセデスAMGモデルにカーボンファイバーデザインサイドストリップを装備、ツートーンダッシュボードを設定	
車両価格 (税込)	G 350 d： 10,800,000円 G 550： 15,300,000円 メルセデス AMG G 63： 19,710,000円 メルセデス AMG G 65： 35,640,000円	
デリバリー 開始時期	—	



BMW 5シリーズ

発表・発売日	2017年1月12日 発表・2月11日 発売	
概要	・ 約7年ぶりのフルモデルチェンジで7世代目に ・ 部分自動運転を可能とした運転支援システム ・ 競合車を圧倒的する燃料消費率：21.5km/L を実現	
車両価格 (税込)	BMW 523i： 5,990,000円～ BMW 523d： 6,980,000円～ BMW 530i： 7,640,000円～ BMW 530e： 7,780,000円～ BMW 540i： 9,720,000円～ BMW 540i xDrive： 10,030,000円～	
デリバリー 開始時期	2017年2月以降	



シノレー コルベット グランスポーツ

発表・発売日	2016年11月10日 発表・発売	
概要	・ Z51とZ06の間を埋めるピュアスポーツモデル ・ 6.2L V8 OHV自然吸気エンジンは最高出力466ps、最大トルク630Nmを発揮 ・ 限定車シノレー コルベット グランスポーツ ヘリテージも15台発売	
車両価格 (税込)	コルベット グランスポーツ クーペ：12,100,000円(7MT) /12,270,000円(8AT) コルベット グランスポーツ コンバーチブル：12,870,000円(8AT) コルベット グランスポーツ ヘリテージ：12,430,000円(ホワイト、ブラック) /12,559,000円(イエロー)	
デリバリー 開始時期	—	



キャデラック CTS-V

発表・発売日	2017年1月5日 発表	
概要	・ 新たにリアカメラミラーを採用。後方カメラからの映像をライブで投影し、従来比3倍の視野を確保 ・ Apple CarPlayに加え、Android Autoに新たに対応 ・ メーカー希望小売価格を5万円値上げ	
車両価格 (税込)	CTS-V セダン Spec-A：13,350,000円 CTS-V セダン Spec-B：14,750,000円	
デリバリー 開始時期	—	

SALES [セールス]

2016年の世界での販売台数は過去最高を記録  
前年比9%増の1万1023台

ベントレー モーターズによると、2016年の全世界での販売台数は、前年比9%増の1万1023台で、過去最高を更新しました。北米や欧州、英国といった主要マーケットはもちろん、世界中でベンティガに高い人気が集まったことなどが、好調の主な要因となりました。

市場別では、北米が2,792台で1位の座を守りました。56%増と驚異的な伸びを見せたヨーロッパが2,676台と北米に肉薄。ベントレーのホームである英国でもセールスは好調で、16%増の1,692台で市場別の第3位に浮上しました。中国は2年連続で前年実績を下回り1,595台でした。このほか、中東が1,239台、アジア・パシフィックが423台などとなっています。

アンドレアス・オファーマン取締役（セールス、マーケティング、アフターセールス担当）は、「2016年はバリエーション豊かな6モデルをリリー



スしました。各モデルの世界各地でのバランスのよい成功により、私達のブランドと商品の強さを示せたと思います。また、2016年には世界でリテラーが20軒増えました。高いレベルの投資とコミットメントで、ポジティブに今年をスタートしたいです」などとコメントしています。

日本市場は17.3%増の434台

日本自動車輸入組合（JAIA）によると、2016年に日本で新規登録されたベントレーは、前年比17.3%増の434台で、2015年に記録した370台を上回り過去最高を更新しました。ベンティガの導入など露出が高まったことに加え、リテラーの皆様へベントレーの魅力を正しくお客様に伝えていただけたことなどにより、素晴らしい結果となりました。コンチネンタル系とフライングスパーもV8モデルを中心に販売が



堅調に推移したうえ、ベンティガは発表から実質半年で85台となったことから、今年は日本市場を牽引するモデルになると思われます。

ベントレー モーターズ ジャパンは、1人でも多くのお客様へベントレーのEXTRAORDINARYな体験をしていただけるよう、2017年もリテラーの皆様と販売数の増加に向け努力していきます。本年もよろしくお願いたします。

■ 2016年モデル別販売台数

ベンティガ	85
コンチネンタルGT/GT Speed	52
コンチネンタルGT V8/V8 S	106
コンチネンタルGT コンバーチブル GT コンバーチブルSpeed	18
コンチネンタルGT V8 コンバーチブル GT V8 S コンバーチブル	31
フライングスパー（W12）	41
フライングスパー（V8）	74
ミュルザンヌ	18
その他	9
計	434

※出典：日本自動車輸入組合「輸入車統計情報 2016年12月度月報」



## MULLINER [Mulliner のビスポーク]

### フライングスパー向け Mulliner のビスポーク

Mullinerは昨年から、フライングスパー向けのビスポーク商品を次々とリリースしてきました。フライングスパーに比較的手軽に施せるビスポークをまとめました。



#### ボトルクーラー

ショーファードリブンとして購入されるケースも少なくないフライングスパー。リアシートで快適に過ごすためのビスポークとして人気なのがボトルクーラーです。

Mullinerが手作業で仕上げるフライングスパー用のボトルクーラーは、シャンパンボトルを1本収納できるほか、ビスポークのシャンパングラスが2つとボトルストッパーを収納できます。このシャンパングラスは、ロンドンのグラスデザイナーであるDavid Redmanの手によるもの。使用する際は、センターアームレストに設けられた専用のグラスホルダーに固定できます。

なお、ベントレーの伝統として、ボトルクーラーやグラスは使用していないときは目につかないように設計されています。そのためボトルクーラーを設置するとトランクのスペースが若干狭くなることをお客様に伝えてください。



#### カクテルキャビネット

2016年10月に開催されたロンドン・カクテルウィークを記念して、Mullinerがフライングスパー V8 Sにカクテルキャビネットを特別架装しました。シャンパンやドリンクのクーラーだけでなく、カクテルも楽しめる可能性を示す興味深いデモカーとなりました。



#### ペイントッド ベニア

エクステリアと同じカラーをウッドパネルにペイントして室内に持ち込むビスポークを最初に取り入れたのが、フライングスパーです。幅広いインテリアハイドのオプションを補完するものとして、非常にモダンな内装にすることができます。

ウッドパネルは熟練の職人によってミラーフィニッシュに適したものだけが厳選され、塗装前に研磨されます。丁寧に完璧な塗装が終わると、最終研磨の工程に移り、ラムウールで磨かれ鏡のように仕上げられます。



#### コントラストカラーの収納ボックス

フライングスパーのリアセンターコンソールにある収納ボックスは、さまざまな手作業によるビスポークを施すことができます。たとえば、腕時計ホルダーやカフス、コインといった小物の収納ボックスなどです。

「Hidden Delight」として知られる見えない部分にコントラストカラーを配色するビスポークは、Mullinerが得意とするものの1つ。サヴィル・ロウで洋服を仕立てるような感覚を味わうことができます。



#### ストーンベニア

近年、ベントレーでは地球環境への影響を最小限に抑えるため、ウッドパネルに変わる素材の開発を進めています。次世代のモダン・ラグジュアリーを表現する素材の第一弾として発表されたのが、フライングスパーとコンチネンタルGT向けのストーンベニアでした。約200万年前にできた珪岩をスレート状にし、Mullinerの専門チームが0.1mmの薄さに仕上げました。カラーバリエーションは、Galaxy、Autumn White、Terra Red、Copperの4色です。



※上の写真はコンチネンタルGTのものです。

#### スターリング・シルバー・アトマイザー

シルバーのアトマイザーを収納するため、Mullinerはフライングスパーのドアをエレガントで使いやすいように再設計しました。このスターリング・シルバーのアイテムは、リアシートでリフレッシュするための水や香水を噴霧するスプレーとして使うことができます。

アトマイザーは徹底的に研磨されており、使用しないときはリアドアのトリムに目立たないように安全に収納できます。



#### 限定車

Mullinerはお客様のさまざまなご要望にお応えるために存在しています。限定車専門のチームが、注意深く選定されたテーマに沿って特別仕様を決めるのです。このチームは市場別の限定車も手掛け、直近では韓国市場向けに「GQ KOREA フライングスパー」を2台だけ限定製造しました。ベンティガのエクステリアデザインを指揮したサン・ユプ・リーとMullinerがコラボレーションしたという点でも注目された限定車です。



※ Mullinerをご発注いただく際の詳細については、ベントレー モーターズ ジャパンにお問い合わせください。



LATEST NEWS [最新情報]

NEW PRODUCT

ベンティガ ONYXが登場  
台数限定の特別仕様車

1月27日に開催されたベントレー リテラー セールス&マーケティングミーティング 2017にて、ベンティガONYXの内容をお伝えしました。2017年3月よりリテラーからのオーダーを開始し、価格は23,990,000円です。現時点では30台の導入を予定しています。仕様の詳細につきましては、先日お配りしたオーダーフォームをご確認ください。

選択肢を限定し選びやすい仕様に

ベンティガ ONYXは、ボディカラーの選択肢を11色、ウッドパネルをDark Fiddleback Eucalyptusに限定します。カラスベック（18MYから新設定のLiquid Amberを含む）やその他のウッドパネルは有償オプションとして設定されます。また、フロントガラスはヒーターなし、サイドガラスはアコースティックなしが標準仕様となりますが、いずれもGlazing Specificationを有償オプションで選択すれば装備が可能です。



ロワーボディにONYX専用設定

ベンティガONYXには専用のカラーコントラストスキームを採用。ベンティガONYXに設定される11色のボディカラーを選択すると、ロワーボディワークがグロスブラックとなります（W12シグニチャーモデルはテクニカルグレー仕上げ）。11色の標準色以外を選択すると、ロワーボディ部分をボディ同色にすることができます（有償オプション）。

パッシブサスペンション

ベンティガONYXには、従来モデルと同様のパッシブアンチロールバーが採用されています（W12シグニチャーモデルはアクティブアンチロールバー）。ONYX専用のセッティングにより優れたライドコンフォートとボディコントロールを実現しました。また、Bentleyダイナミックライドは有償オプションで設定されています（オールテレインスベック選択時には自動的に装着されます）。

■ W12シグニチャーモデルとONYXの仕様・装備差

仕様・装備	W12 Signature	ONYX
20インチ 10スポークアロイホイール (ペイント仕上)	NCO	●
カラー選択の限定	—	●（11色）
標準ガラス（フロント、サイド）	—	●
グロスBelugaブラック ロワーボディワーク	—	●
グロスBelugaブラック ナンバープレートサラウンド	—	●
ドアミラーフット部 グロスBeluga仕上	—	●
Mullinerドライビングスベック	●	○
エリアーデ アップパートリム	—	●
フルーテッド シート	—	●
カラスベック	●	○
ウッドパネル選択の限定	—	●
パッシブアンチロールバー	—	●
Bentley ダイナミックライド	●	○

■ Mullinerドライビングスベック（W12 Signature標準）に代わる標準仕様

Mullinerドライビングスベック	W12 Signature	ONYX
ジュエル フェーエル & オイルファイラーキャップ	●	プラスチック
レザーアップパートリム	●	エリアーデ アップパートリム
キルティングシートボルスター、 ショルダー&ドアパネル	●	フルーテッドシート & ドアパネル/パッド
キルティングバックボード（4席仕様）	●	パッドバック ボード（4席仕様）
スポーツフットペダル	●	「B」デザイン フットペダル
Bentley エンブレム刺繍	NCO	—
カラスベック（有償で設定あり）	●	5色から選択可の 単色インテリア

●：標準装備、○：オプション、NCO：無償オプション、—：設定なし

EXTRAORDINARY

「ベントレー ガールズ」をご存じですか？

ベントレー ボーイズの活躍はよく知られていますが、ベントレーの歴史を振り返ったときに、後席に座っていることをよしとしない女性たちがいたことも忘れてはなりません。ベントレーの伝説となっている3人のEXTRAORDINARYな「ベントレーガールズ」を紹介します。

Mary Petre Bruce

Mary Petre Bruceは、スピードのために生まれてきたと言っても過言ではありません。1926年に同年のモンテカルロ・ラリーで優勝したVictor Bruceと結婚。その翌年に彼女もラリーの世界に足を踏み入れ、72時間で1700マイルを走り、全体の6位でフィニッシュ。しかし、表彰台を逃した悔しさをバネに奮起し、1928年には2位になりました。



Mary Petre Bruceの情熱がW.O.やBarnato（写真左）にBarkin（写真右）と  
いったベントレー・ボーイズの心を動かした。

1929年にはレースに参加するため、パワフルな4.5 Litreを借りようとW.O.ベントレーに直訴。彼女の迫力にW.O.は「彼女ならできるはずだ」とWoolf Barnatoに話し、Tim Barkinの4.5 Litreを貸し出したという逸話が残っています。24時間で2164マイルを走り、平均時速は90m/h（約144km/h）の記録を樹立。さらに数年後には、夫婦で走行距離の記録を塗り替えたほか、パワーボートや航空機でも記録を打ち立てました。

Dorothy Paget

ベントレーを象徴し、「Blower Bentley」として知られる4.5 Litre Superchargedの開発において、なくてはならない役割を果たしたのがDorothy Pagetです。世の多くの女性が求婚してくれる男性を求めている時代、彼女が求めたのはスピードとパワーでした。ブルックラン



Dorothy Pagetの支援を受けて4.5 Litre Supercharged “Blower”を駆る  
Tim Barkin。



「ベントレー・フライングレディ」とも呼ばれるDiana Barnato。2003年のル・マン優勝祝勝会にも駆けつけた。

ズで初めて開催された自動車レースに足を運び、ベントレー ボーイズやTim Barkinからドライビングのレッスンを受けたことで、モータースポーツにのめり込んでいきました。1929年までに、Barkinは4.5 Litreにさらなるパワーを求めるようになり、スーパーチャージャーがその手段だとの結論に至ると、W.O.の反対にもかかわらず、BarkinはPagetにスポンサーになってくれるよう依頼。彼女の支援を受けた4台の4.5 Litre Supercharged Blowerは、ブルックランズでのレースとル・マンを制しました。

Diana Barnato Walker

ル・マンで3度の優勝を誇るWoolf Barnatoの娘、Diana Barnato Walkerは、父と同じく勇敢な魂を持った女性でした。彼女は乗馬と自動車を愛し、21歳の誕生日には父からシルバークレーの4.5 Litreをプレゼントされました。そして彼女は、Mary Petre Bruceのように空を飛んだ女性でもありました。1938年にブルックランズ・フライングクラブで6時間の講習を受けただけで、たった1人で飛べるようになったそうです。1941年には、飛行機を工場から前線の飛行隊に届ける仕事にも従事。容姿が端麗だけでなく操縦技術も優れていた彼女は有名になり、終戦までに260機ものスピットファイア戦闘機を前線に届けたそうです。1962年には、エレクトリック・ライトニング戦闘機に乗り込みマッハ2で飛行したことを評価され、Jean Lennox Birdトロフィーを授けられました。

BASIC KNOWLEDGE [基礎知識]

リコール / 改善対策 / サービスキャンペーンの違い

クルマの設計上、製造上のミスに伴う不具合を、メーカーの責任において修理を行う制度として「リコール」が広く知られています。近年では、タカタ製エアバッグの不具合に起因する大規模なリコールが世界的な話題となりました。このメーカーによる回収・修理の制度には、リコール以外にも「改善対策」と「サービスキャンペーン」があります。今回はこの3つの違いについて理解を深めておきましょう。なお、自動車本体以外にタイヤとチャイルドシートもリコール制度の対象となっています。

リコール

その不具合により、道路運送車両の保安基準に適合していないあるいは適合しなくなるおそれがあり、その原因が設計または製作過程にあると認められるときに、自動車メーカーが保安基準に適合させるために必要な改善措置を行うこと。

道路運送車両の保安基準は、車体の寸法に始まり、エンジンやサスペンション、ブレーキといった走りに絡むものから、排気ガス関連、シートベルトやウインドー、灯火類の大きさや明るさ、ホーン、ワイパー、ミラー、果ては施設装置に至るまで、クルマの基本仕様を細かく定めており、それに1つでも合致していないと原則として車検には通りません。

リコールの対象となる不具合はこの保安基準に抵触するため、改修を受けないと車検に通りません。また、部位によっては乗員や他の交通に危害を加える可能性もあるため、迅速な対応が必要になります。

改善対策

リコールとは異なり、道路運送車両の保安基準には規定されていないが、不具合が発生した場合に安全の確保および環境の保全の面で看過できない状態にあり、その原因が設計または製作過程にあると認められるときに、自動車メーカーが必要な改善措置を行うこと。

保安基準に抵触しないため放置しておいても車検は通りますが、安全性や環境面でトラブルを招く可能性のある不具合が該当します。

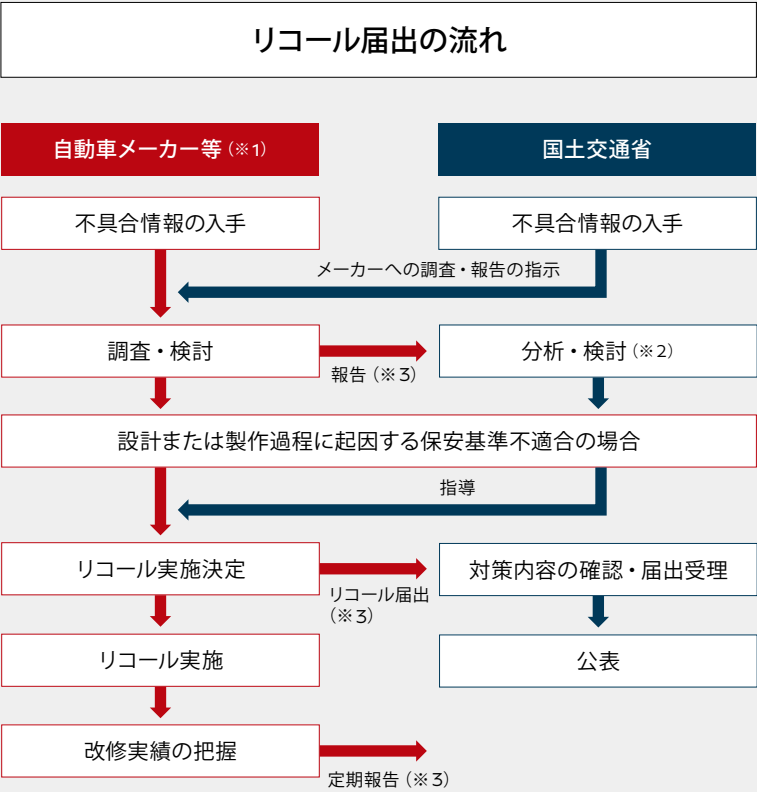
一例ですが、2016年12月にボルシェ・マカンターボに改善対策の届出がありました。電動パワーステアリング制御ユニットの通気孔に貼られている防水フィルタに不具合があり、雨水等が侵入してステアリング操作が重くなる可能性があるとのこと。仮にステアリングが動かなくなってしまうならリコールになりますが、ステアリングの重さに関しては保安基準に定められていないため、改善対策として処理されたようです。

サービス  
キャンペーン

リコールや改善対策に該当しない不具合で、主として商品性や品質の維持を目的に、自動車メーカーが改善措置を行うこと。

保安基準に抵触しないため車検に落ちることはなく、放置しても不快あるいは使い勝手が低下するだけで、重篤なトラブルや事故につながることはない不具合を対象にした改善措置です。

例えば、2015年10月にVWゴルフ・Rヴァリアントで実施されたサービスキャンペーンは、エンジンルームを通るブレーキパイプに遮熱マットが巻かれておらず、サーキットなどの過酷な走行条件下でブレーキフルードの粘度が低下し、ブレーキフィーリングが変わる恐れがあるというものでした。二輪車のケースでは、取扱説明書に記載されているオイルとオイルフィルターの交換時期が誤っていたため、正しい取扱説明書と交換する、というサービスキャンペーンもありました。



リコールの勧告、命令

事故が著しく生じている等によりリコールが必要であるのに適正に実施されない。

リコール勧告

公表

リコール命令 ※3

※1：メーカーには監査の実施等により指導・監督を行っている。  
※2：必要な場合には、(独)交通安全環境研究所リコール技術検証部において技術的検証を行う。  
※3：虚偽報告、リコールの届出義務違反、リコール命令に従わない場合には、罰則(懲役1年以下、罰金300万円以下、法人罰金2億円以下)が科せられる。

リコールの届出は、自動車メーカーと国土交通省が連携して行います。リコールと改善対策についてはこの流れに沿って、国土交通省のウェブサイトでも告知されますが、サービスキャンペーンについては自動車メーカーからのみの告知になります。

リコールを確実に行うには

上の説明のとおり、この3項目の重要度は、保安基準への適合と安全性の面から『リコール>改善対策>サービスキャンペーン』の順になります。

いずれも、ユーザーへの告知は自動車メーカーあるいはインポーターが行うことになっており、対象となるユーザーにダイレクトメール(DM)が郵送されます。現在では、自動車メーカーのウェブサイトや所管する国土交通省のウェブサイトでも告知されますが、すべてのユーザーがタイムリーに見るとは限らないため、あくまでもDMを読んで、最寄りのディーラーに作業の予約をするのが基本となっています。

流通台数の多い国産車では、転居を届け出していないユーザーや中古車を購入したユーザーへの告知が課題となっています。ベントレーのようなプレミアムブランドでも、中古車を購入したお客様への確実な告知が課題です。



国産メーカーのDMの一例。確実に受け取るためには転居した際にディーラーなどに届ける必要があります。中古車を購入した際も、最寄りのディーラーに申し出れば登録できます。